



Dartford Grammar Schoolとの交流 1年環境科学科 ポスター発表

10月18日(月)、ダートフォード・グラマー・スクールより、生徒20名と先生2名の方が来校されました。

歓迎会の後、環境科学科1年生の生徒たちが、SSH関連授業(SS探究科学Ⅰ)で制作した「著名な科学者」のポスターについて発表しました。発表が始まる前は、用意した資料や英文を入念に読み返すなど緊張した様子でしたが、いざポスターセッションが始まると、堂々と自信をもって発表していました。英語や日本語を交えて意見交換や自己紹介をしながら交流を深め、有意義で貴重な時間を過ごすことができました。



参加生徒の感想より

「日本とイギリスの違いを知ることができ、よかったです。イギリスでは地震が起こらないと聞きました。」「ダートフォード生は日本語がすごく上手で、自分が英語をしゃべれないのが恥ずかしかったです。次回にはもっと英語を勉強して話せるようになります。質問されたときに科学に関してレベルが高いなと感じました。」「自分の英語が通じているかすごく不安だったけれど、相手が分からないような様子をしていなかったの、とりあえず大丈夫だったと思う。」「普段、外国の人と英語で話すということはほとんどないので、とてもよい経験になりました。」



1年ラボツアー 2日目 京都大学 桂キャンパス

桂キャンパスは、2003年10月にオープンした京都大学3番目のキャンパスで、4つのクラスターから構成されています。今回の研修では、京都大学工学部・工学研究科の施設を中心に見学させていただきました。

船井哲良記念講堂のガラスウォールには、京都大学出身のノーベル賞、フィールズ賞受賞者名が刻まれており、研究ノートなどが展示されていました。

インテックセンターは、工学研究科が独自に構想し、工学の多様な専門分野の枠組みを超えた分野横断型総合研究の場と位置づけて設置された知と技の発信基地です。こちらでは、シミュレーションラボと無響実験室を見学し、説明していただきました。シミュレーションラボは、構造物の破壊実験や流体実験等の大規模な実験装置を用いる研究のための大空間実験室で、大気・海洋シミュレーション水槽、弾性体・流体シミュレーション風洞装置、反力壁・反力床があります。見学させていただいた無響実験室は、“吸音くさび”というガラスウォールであり、みこまれた繊維で覆われており、部屋の内外で、音の響き方が違い、驚きました。

環境系研究室では、物質やエネルギーの流れを解析し、都市代謝機能を担う環境プラントの計画、設計、制御等の研究が行われています。また、環境安全衛生センターでは、防護服の種類(化学防護服



や耐熱防護服など)について説明していただき、実際に防護服や空気呼吸器を装着させていただきました。

参加生徒の感想より

「キャンパスは新しく広がったので、どこを見学しても、とても楽しかったです。充実したこの施設で研究できる学生の方はきっと楽しいだろうなと思いました。」「無響音室は大きい声を出しても全く響かなかったの、おもしろかったです。また、ボンベを背負わせてもらったのですが、思った以上に重かったです。貴重な体験ができたのでうれしかったです。」「ノーベル賞受賞者の展示には、研究ノートまで展示されていて、見れてよかったです。」「環境に対する考え方を意識させられました。」「研究室に入るのに、セキュリティがしっかりされていた。工学部では機械ばかり扱うというイメージでしたが、そんなことは全くなくて意外でした。生物が関係する研究だったり、いろいろな視点から研究がなされているのが分かりました。」

